

病虫害情報

奈病防号外
平成30年6月1日

関係機関長 殿
病虫害防除員 殿
調査員・情報員 殿
農業資材販売等関係者 殿

奈良県病虫害防除所長

病虫害情報の送付について

このことについて、下記の通り発表しましたので送付します。安全・適正な防除についてご指導をお願いします。

平成30年度病虫害情報（第2号）

Cf-9 抵抗性品種でのトマト葉かび病の発生について

対象作物：トマト

対象病虫害名：葉かび病

発生状況

- (1) 平成30年4月以降、県内のトマト産地で葉かび病抵抗性遺伝子 Cf-9 を持つ品種「CF 桃太郎はるか」、「CF ホーム桃太郎」に葉かび病の発生が確認された。
- (2) 近年は Cf-9 を保有する品種の導入により、葉かび病の発生は減少傾向にあった。
- (3) Cf-9 を保有する品種を罹病させるレースは、国内では平成19年の福島県の発生以降、三重県など少なくとも12県で確認されているが、本県での発生は初めてである。

防除対策

- (1) 県内で栽培されている抵抗性品種の多くは Cf-9 を保有しているため、抵抗性品種を栽培しているほ場においても殺菌剤の散布を行い、本病の発生に注意する。
- (2) 多湿条件下で発生しやすいので、株の密植を避け、換気を行うなど湿度を下げるように管理する。
- (3) 葉裏の病斑上に胞子が形成されると急速に拡大し防除が困難になるため、発病前の予防散布に努める。薬剤が葉の裏面にも十分にかかるように丁寧に散布を行う。殺菌剤に対する感受性の低下を防ぐため、表を参考に同一系統薬剤の連用を避ける。

表 トマト葉かび病に対する主な殺菌剤

農薬名	希釈倍率	収穫前使用日数	本剤の使用回数	有効成分	成分総使用回数	FRACコード	耐性菌リスク
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫前日まで	4回以内	アゾキシストロビン	4回以内	11	高
アフェットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ベンチオピラド	3回以内	7	中～高
カンタスドライフロアブル	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内	ボスカリド	3回以内	7	中～高
トリフミン水和剤	3000～5000倍	収穫前日まで	5回以内	トリフルミゾール	5回以内	3	中
スコア顆粒水和剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ジフェノコナゾール	3回以内	3	中
ベルコート水和剤	3000～6000倍	収穫前日まで	3回以内	イミノクタジナルベシル酸塩	3回以内	M7	低
ダコニール1000	1000倍	収穫前日まで	4回以内	TPN	4回以内(但し、土壌灌注は2回以内、散布及びくん煙及びエアロゾル剤の噴射は合計4回以内)	M5	低

農薬に関する情報は、平成30年5月16日現在の登録内容に基づいて記載しています。



写真1 トマト葉かび病の葉裏の症状

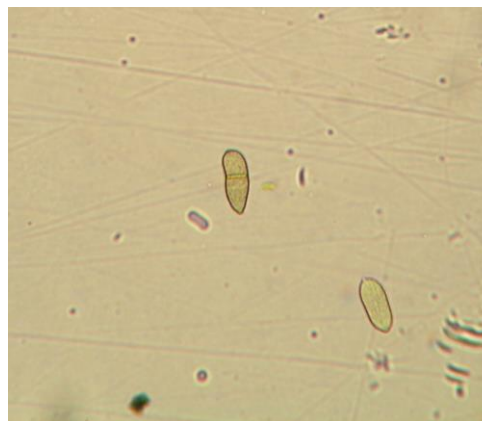


写真2 トマト葉かび病の分生子

お問い合わせは

奈良県病虫害防除所
TEL. 0744-47-4481

病虫害防除所ホームページ
<http://www.jppn.ne.jp/nara/>